第 10 号
発行所
長野県飯田OIDE長姫高等学校
同窓会
会長 須山和彦
発行人
会報委員長 中島武津雄
印刷
三晃印刷株式会社

伸びつづける学校のために

飯田OIDE長姫高校 同窓会長 須山和彦

日頃より会員皆様には、当会へのご協力に深く感謝しております。

昨年度はこの世相に負けないようコロナ対策をしながらほとんどの事業を計画どおり実施してまいりました。特に懸案になっておりました、未統合支部への解決の働きかけ、また（一般財団法人）ＯＩＤＥ会と同窓会との話し合い、そして来年迎える「統合創立10周年記念事業」への取り組みについては、関係する会員はじめ多くの皆様にご理解と多大なご協力をいただき、一定の進捗と成果を上げることができました。心より深く感謝申し上げます。

平成４年度は、昨年度の事業の最終仕上げと、学校及びこの学校で学ぶ生徒達と同窓会との関係を今まで以上により親密化するための行動を起こしてまいりたいと思っております。幸いにも学校等からの要請もありさっそく行動に移しております。一つ目は、特別教育活動に関する全国大会出場生徒激励会の開催・二つ目は校内生活体験発表会に審査委員として参加、三つめは野球部後援会から激励会への参加依頼をいただき参加し激励、等々「総合技術高校」で大活躍している母校の今学ぶ生徒たちに「学業しやすい環境づくり」を支援していくことも同窓会の大きな役目と心得、これからも努力してまいります。

会員相互の融和を大切に、会員の皆様と共に進んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

総合技術高校とは

飯田OIDE長姫高校 学校長 松原均

同窓会の皆様におかれましては日頃より、本校教育活動に際しまして、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

本校は県下初の総合技術高校として開校し今年で10年目を迎えます。総合技術高校は専門高校の集合体です。総合学科ではありません。昨年度まで指定を受けた文部科学省事業をリニュアルし、「協創教育基礎」「地域ビジネスと環境」「課題研究」「地域活性化プロジェクト」に連なる探究学習プログラムを構築しました。この教科横断型連携教科「総合技術」が総合技術高校の大きな特長です。この学習で学科を越えて協創し、課題を発見して探究します。今後の生徒の活躍にご期待ください。

定期総会開催される

同窓会事務局長 吉川文人

令和４年度定期総会が、６月４日(土)午後２時よりシルクホテルにおいて開催しました。この２年間はコロナの影響により出席者を絞り行ってきましたが、今年度は感染予防対策を行い通常形式で実施しました。

学校からは校長先生をはじめ関係者を来賓に、又関東・東海地区会長にも参加いただき総勢１０３名の参加で行われました。

須山会長から、「工業高校と長姫高校が統合して10周年を迎えるので、学校及び同窓会の統合記念事業を実施したい。未統合支部が幾つかあるので、この機に統合したい。子供たちが勉強しやすい環境づくりを支援していきたい」とあいさつがありました。

来賓の松原校長先生からは、「10年間総合技術高校としてすばらしい活躍をしてきた。モデルとなって県内、全国

会長あいさつ

会場風景

をリードしていきたい。３年間実施した地域との協働による高等学校教育改革支援事業も成果をあげて地域の方々から褒められている、今後も継続していきたい。」と話されました。

令和３年度事業・決算報告、４年度事業計画・収支予算そして来年度実施予定の統合創立10周年記念事業の計画と予算も提案され全て満場一致で可決されました。詳細は次ページに掲載してあります。

２部では、母校生徒による活動発表が行われました。

機械工学科、電気電子工学科、社会基盤工学科による学科間連携課題研究で取り組んだ防災ベンチ作りが報告されました。昨年は、基礎工事と木材加工、屋根の建設を行い、本年度はベンチ部分の製作に入る。商業科では「地域人教育」のカレースパイスでの活動実践の報告がされました。最後にコンピュータ制御部のテックレンジャーショーが行なわれました。

３部では、久々に行われた懇親会で交友を深めました。

防災ベンチ

テックレンジャーショー

ＯＩＤＥ会について

事務局　長谷部　徳　治

８月５日午後、育友会館において「一般財団法人ＯＩＤＥ会」の新旧代表理事（新：須山和彦同窓会長　旧：宮島俊太郎代表理事）の引継式が行われました。

「一般財団法人ＯＩＤＥ会」は、前身の「財団法人飯工会」（昭和45年設立）が法人法の改正により一般財団法人となると時を同じくして飯田工業高校と飯田長姫高校の統合が重なったことから、「一般財団法人ＯＩＤＥ会」と名称を改め移行しました。

同窓会統合（平成25年）当時は、一般財団法人への移行前で「財団法人飯工会」であったこと、座光寺の同窓会館「爽風会館」の処理方法が定まっていなかったこと、財産の使途の結論が出ていなかったこと等々の中で、工業側より６名、長姫側より４名の役員を選出し、一定の整理ができるまでの対応をお願いしてきました。

その後、「爽風会館」の維持管理を行いながら処理方法を模索する中で、旧飯田工業高校校舎を「産業振興の拠点エス・バード」として活用することが決まり、「爽風会館」も飯田市により購入いただき、一定の整理を図ることができました。

この間、「財団法人飯工会」の資産により、両同窓会の財政の不均衡を解消するため同窓会に代わって学校への毎年の200万円の寄附５年間で１千万円を行い、その後も学校への寄附を続ける等の運営を図りつつ課題の整理を図ってきたところ、令和３年度末の資産残高2,112万3,097円をもって整理が完了し引継となりました。

令和４年６月30日、全ての役員の新役員（現同窓会役員）への役員変更登記を終え、名実共に飯田ＯＩＤＥ長姫高校同窓会の運営する一般財団法人としてスタートしました。

この間の旧役員の皆さま、昭和45年以来の永きにわたりご苦労をされ今日の基礎を築いていただいた関係各位のご労苦に心からの敬意を申し上げます。

【「一般財団法人ＯＩＤＥ会」旧役員の皆さま】

評議員	中　島　史　雄（工業）	松　下　清　二（工業）	林　　喜　弘（長姫）
理　事	宮　島　俊太郎（工業）	久保田　和　平（工業）	三ツ井　慶　一（長姫）
	中　島　五　月（長姫）	(故)平　澤　章（長姫）	伊　澤　和　明（工業）
監　事	佐々木　重　光（工業）	林　　日出登（長姫）	
事務局	長谷部　徳　治（工業）	北　澤　義　和（工業）	

＜新役員＞

評議員	井口　昇治	清水　　勇	澤柳　孝彦	
理　事	須山　和彦	中島武津雄	塩澤りゑ子	北澤　義和
監　事	小木曽俊夫	井坪　　隆		
事務局	吉川　文人			

ＯIDE会新役員への引継ぎ

令和3年度　収支決算書

自　令和3年4月1日　収入決算額　15,573,120円
至　令和4年3月31日　支出決算額　10,738,932円
差引残額　4,834,188円

収入の部

(単位：円)

科　目	予算額	決算額	増　減	備　考
1 入会金	891,000	894,000	3,000	新入生298名×3,000円
2 維持費	8,208,000	7,972,600	△ 235,400	
⑴一般納入金	5,800,000	5,620,600	△ 179,400	振込　370名　集金5,111名
⑵卒業時納入金	2,408,000	2,352,000	△ 56,000	
3 雑収入	1,350,543	1,170,063	△ 180,480	マイクロバス使用料ほか
4 繰入金	2,000,000	0	△ 2,000,000	
5 繰越金	5,536,457	5,536,457	0	
合　計	17,986,000	15,573,120	△ 2,412,880	

支出の部

(単位：円)

科　目	予　算　額	決　算　額	増　減	備　考
1 運営費	2,626,000	2,222,196	△ 403,804	
総会費	250,000	199,926	△ 50,074	
会議費	550,000	362,116	△ 187,884	
旅　費	100,000	73,810	△ 26,190	
需要役務費	606,000	506,344	△ 99,656	
⑴水道光熱費	6,000	5,072	△ 928	
⑵通信費	160,000	166,474	6,474	電話代ほか
⑶雑　費	40,000	28,545	△ 11,455	
⑷事務費	400,000	306,253	△ 93,747	封筒代ほか
慶弔費	100,000	60,000	△ 40,000	支部総会祝儀・餞別ほか
人件費	1,020,000	1,020,000	0	
2 事業費	7,890,000	5,516,736	△ 2,373,264	
⑴学校支援事業	3,870,000	1,869,050	△ 2,000,950	
会員歓迎費	140,000	139,650	△ 350	卒業証書ホルダー
授業等支援協力金	2,600,000	600,000	△ 2,000,000	文科省事業補助
クラブ活動助成金	80,000	80,000	0	飯田自動車学校寄付金
リース料	1,050,000	1,049,400	△ 600	マイクロバスリース料
⑵会報発行費	1,500,000	1,490,500	△ 9,500	会報・関係書類印刷等
⑶名簿管理費	100,000	100,000	0	
⑷手数料	1,750,000	1,602,646	△ 147,354	集金・払込手数料
⑸負担金	70,000	8,800	△ 61,200	
⑹支部育成費	400,000	277,000	△ 123,000	支部育成費
⑺助成金費	150,000	119,240	△ 30,760	
⑻ホームページ管理費	50,000	49,500	△ 500	
3 積立金	3,000,000	3,000,000	0	
4 予備費	4,470,000	0	△ 4,470,000	
合　計	17,986,000	10,738,932	△ 7,247,068	

令和３年度　事業報告

○入学式（学校）
○特別支援金贈呈（学校）
○監査会（育友会館）
○第16回春季ゴルフコンペ
　（高森カントリークラブ）
○定期総会（学校）
○土木会総会（学校）
○同窓会名簿委託契約書調印（育友会館）
○学校との意見交換会（育友会館）
○支部長会（育友会館）
○同窓会報第９号発行
○竜丘支部正副支部長会（ドライブイン開善路）
○第17回秋季ゴルフコンペ（飯田カントリー倶楽部）
○飯伊地区高等学校同窓会連絡協議会
　（シルクホテル）
○学校支援金交付（学校）
○母校定時制卒業式（学校）
○母校全日制卒業式（学校）

令和４年度　事業計画

1　令和４年度総会の開催
　日時　令和４年６月４日㈯　午後２時
　会場　シルクホテル
　内容　３年度事業・決算報告、４年度事業計画（案）予算（案）、
　　統合創立10周年記念事業計画（案）予算（案）審議

2　学校支援事業
3　会報第10号の発刊
4　支部組織の拡大・充実の支援
5　会員増強に関する事業
6　執行役員会の開催
7　理事会、支部長会の開催
8　各委員会及び、各種会議の開催
9　会員名簿管理
10　ホームページの更新、管理
11　会の目的推進に寄与する事業への補助
12　飯伊地区高校同窓会との連携
13　母校との連携
14　その他執行役員会で必要とした事業
15　会員名簿の発行

４年度重点事業
16　統合創立10周年事業　前年度準備
17　未統合支部の統合に向けての協力

積立金明細

年度始積立金	17,278,344円
新規積立金	3,400,000円
預金利息	413円
年度末積立金	20,678,757円

令和４年３月31日現在
（単位：円）

科　目	摘　　要	金　額
定期預金	飯田信用金庫名古熊支店　No. 0112374	3,002,217
〃	〃　No. 0112706	800,592
〃	〃　No. 0122254	2,001,053
〃	〃　No. 0138033	140,552
〃	〃　No. 0144901	400,075
〃	〃　No. 0152473	6,402,181
〃	〃　No. 0152481	400,041
〃	〃　No. 0158754	400,007
〃	〃　No. 0164012	400,000
〃	〃　No. 0164020	1,000,000
	飯田信用金庫計	14,946,718
定期預金	八十二銀行八幡支店　No. 40266	1,732,005
〃	〃　No. 3000013150	2,000,034
〃	〃　No. 40266-5	2,000,000
	八十二銀行計	5,732,039
	合　計	20,678,757

扇風機特別会計（貸付金）

貸付残高	1,594,000円
PTA返済金　4.3.29	400,000円
貸付残高　4.3.31	1,194,000円

監　査　報　告

帳簿及び伝票を監査致しました結果、正確であることを証します。

令和４年４月20日

監事　井坪　隆

監事　小木曽俊夫

令和４年度　収支予算書

至　令和４年４月１日　収入予算額　17,012,000円
至　令和５年３月31日　支出予算額　17,012,000円
差引残額　0円

収入の部

（単位：円）

科　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　考
1 入会金	894,000	891,000	3,000	新入生298名×3,000円
2 維持費	7,894,000	8,208,000	△ 314,000	
⑴一般納入金	5,550,000	5,800,000	△ 250,000	振込350名　集金5,200名
⑵卒業時納入金	2,344,000	2,408,000	△ 64,000	卒業生293名×8,000円
3 雑収入	1,889,812	1,350,543	539,269	新年理事会・総会参加費、マイクロバス使用料
4 繰入金	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	積立金より
5 繰越金	4,834,188	5,536,457	△ 702,269	
合　計	17,012,000	17,986,000	△ 974,000	

支出の部

（単位：円）

科　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　考
1 運営費	4,866,000	2,626,000	2,240,000	
総会費	1,500,000	250,000	1,250,000	
会議費	1,100,000	550,000	550,000	役員会ほか
旅　費	140,000	100,000	40,000	
需要役務費	756,000	606,000	150,000	
⑴水道光熱費	6,000	6,000	0	
⑵通信費	200,000	160,000	40,000	電話代、切手代
⑶雑　費	50,000	40,000	10,000	
⑷事務費	500,000	400,000	100,000	コピー機リース料、封筒代
慶弔費	350,000	100,000	250,000	支部総会祝儀
人件費	1,020,000	1,020,000	0	
2 事業費	8,010,000	7,890,000	120,000	
⑴学校支援事業	2,070,000	3,870,000	△ 1,800,000	
会員歓迎費	140,000	140,000	0	卒業証書ホルダー
授業支援金	600,000	2,600,000	△ 2,000,000	文科省事業補助
その他支援金	200,000	0	200,000	全国大会出場者支援
クラブ活動助成金	80,000	80,000	0	飯田自動車学校寄付金
リース料	1,050,000	1,050,000	0	マイクロバス
⑵会報発行費	1,750,000	1,500,000	250,000	
⑶建立費	1,500,000	0	1,500,000	旧工業高校校歌碑建立費
⑷名簿管理費	100,000	100,000	0	
⑸手数料	1,750,000	1,750,000	0	集金手数料、払込手数料
⑹負担金	140,000	70,000	70,000	
⑺支部育成費	500,000	400,000	100,000	支部設立奨励金、支部育成費
⑻助成金費	150,000	150,000	0	女性部、ゴルフ会 土木会ほか
⑼ホームページ管理費	50,000	50,000	0	
3 積立金	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000	
4 予備費	2,136,000	4,470,000	△ 2,334,000	
合　計	17,012,000	17,986,000	△ 974,000	

※総会資料において「２ 事業費」に「⑶建立費 1,500,000円」が漏れていたため「４ 予備費」より流用しました。
収入・支出総額には変わりありません。お詫びして訂正します。

統合創立10周年記念事業計画（案）

趣旨

2013年（平成25年）４月１日　飯田長姫高校と飯田工業高校が統合し「長野県飯田OIDE長姫高等学校」が開設されました。校名の由来は、県下初の総合技術高校で学ぶ生徒たちが、グローバルな視点をもってこれからの産業経済の発展に寄与できる人材に育ってほしいと命名され「長姫」と「OIDE」精神とを併記し両校の伝統を尊重継承するものであります。

そして2023年（令和５年）に学校創立10周年及び両校同窓会統合10周年を迎えます。この10年、生徒たちの文武両道にわたる活躍は、目を見張るものがあり先生方のご指導のおかげと感謝するとともに、同窓会も含め学校にかかわるものとして誇らしい日々が続いております。

そこでこの年を記念として「長野県飯田OIDE長姫高等学校　統合創立10周年」と銘うち記念事業を計画し実行いたしたく、ここに提案いたします。

事業計画

１　記念式典
- 日時　令和５年10月７日㈯
- 場所　OIDE長姫高校大体育館
- 内容　祝賀式
  アトラクション　生徒による実践発表

２　祝賀会
- 日時　記念式典終了後
- 場所　シルクプラザホテル

令和４～５年度　飯田OIDE長姫高校同窓会
統合創立10周年記念事業収支予算書

自　令和４年４月１日
至　令和６年３月31日

収入予算額	8,600,000円
支出予算額	8,600,000円
差引残額	0円

収入の部　（単位：円）

科　目	予算額	備　考
繰入金	8,000,000	積立金より
祝賀会会費	600,000	参加費
寄付金	0	
雑収入	0	
合　計	8,600,000	

支出の部　（単位：円）

科　目	予算額	備　考
1 運営費	3,500,000	
祝賀会費	1,400,000	
会議費	650,000	実行委員会食事代ほか
旅費	180,000	会議旅費
印刷費	260,000	式典パンフレット印刷ほか
消耗品費	140,000	
通信費	30,000	
事務費	640,000	新聞広告掲載料・業務費
謝礼	200,000	生徒謝礼
2 事業費	3,093,000	
校歌碑建立費	1,500,000	飯田OIDE長姫高校校歌碑
学校備品整備費	593,000	10人乗りワゴン車リース料（令和6年度より一般会計）
記念品費	0	
支部助成金	1,000,000	
3 予備費	2,007,000	
合　計	8,600,000	

令和３年度
同窓会支援の対象事業一覧

本年度の同窓会支援事業につきまして、支援希望を募り検討の結果、次のように支援対象を決定し支援金を贈呈しました。

支援対象事業	申請者・団体名称	概　　要	助成額(円)
授業支援金	同窓会	マイクロバス管理費	400,000
	学科間連携課題研究	学科間連携防災ベンチ材料費	173,668
	機械工学科	非常階段の防犯扉の製作	5,095
	定時制	定時制授業支援	168,328
ものづくり支援金	機械工学科	技能士支援金	128,378
	電気電子工学科	技能士支援金	20,130
クラブ活動助成金	原動機部	競技用車両製作のための費用	125,000
	テニス部	ガット張り機	110,000
	男女バレーボール部	バレーボール購入費用	40,000
	コンピュータ制御部	テックレンジャーショー費用	28,000
	女子バスケットボール部	電子スコアシステム使用料補助	29,000
	電気部	競技用ロボット制作費用	91,000
	サッカー部	ゴールキーパー用ユニフォーム、ボール購入費用	98,000
	バドミントン部	シャトル代購入費用	37,000
	野球部	黒土 15㎥	92,000
競技大会報奨金	商業研究部	団体　北信越高等学校ワープロ競技大会出場３位他	8,000
	原動機部	団体　Ene-1GP SUZUKA KV40 チャレンジ全国大会 KV1 他	28,000
	電気部	団体　ジャパンマイコンカーラリー全国大会２位他	18,000
学校整備	同窓会	生徒用ロッカー補助	400,401

助成合計金額：2,000,000 円

主な支援対象事業の報告

電気電子工学科

電気電子　技能検定

電気電子工学科では、電気系保全作業、シーケンス制御作業の技能検定に向けた補習を行っており、今回は電線や専用の材料を購入していただきました。補習で使用する材料は消耗品が多く、ご支援いただき大変助かっております。昨年度は電気系保全３級に５名、シーケンス制御３級に13名、２級に２名合格しました。資格取得は簡単ではありませんが、確かな技術の習得と、あきらめず努力する力、粘り強さを育み、合格に向け精進していきたいと思います。

硬式テニス部

日頃より、硬式テニス部の活動を支援していただき有難うございます。

補助で買わせていただいたストリングマシーンで日々練習をしております。本年度も県大会に出場することができ、優秀な成績をおさめることができました。今後とも頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

柔道部

日頃よりご支援を頂きましてありがとうございます。この度、柔道用の投げ込みマットを購入させて頂きまして、非常に良い練習が行えております。感謝申し上げるとともに、これからの柔道部の活動にもご理解の程よろしくお願いいたします。

機械工学科

技能検定

機械工学科、電子機械工学科では、希望者に対して旋盤と機械検査の技能検定の取得に向けた訓練や講習を行っております。指導者には本校職員に加え、本校OBの技能士や現代の名工となられた方による指導を受け、技能士の合格を目指し日々励んでいます。

非常階段防災扉の製作

工業棟西側に設置されている非常階段が、外から侵入できないよう扉を製作した。また、緊急時には外からも開けられるよう、開けた場合は開けたことが分かるよう工夫した。

原動機部

7月31日㈰三重県にある鈴鹿サーキットにて開催された「2022　Ene-1 SUZUKA Challenge　KV-40・KV-Moto　チャレンジ全国大会」に参加しました。単３電池40本をエネルギーとして、手作りの電気自動車と電動自転車を走らせます。電気自動車部門は鈴鹿サーキットフルコースを３回走り、そのタイムアタックの合計タイムを競います。電動自転車部門は１回のタイムアタックと30分間の耐久レースになります。

高校生部門10連覇というプレッシャーのかかるレースでしたが、歴代の記録を残した車両を信じ、３年生３人、２年生６人、１年生11人がチーム一丸となってレースに臨み、３つのクラスで高校生部門１位を獲得し、２部門で総合１位を獲得することができました。

KV-40（電気自動車）
- ●Div1クラス（一般・学生、車両重量制限なし）
  高等学校部門１位（総合３位）
- ●Div-nextクラス（学生のみ、車両重量35kg以上）
  高等学校部門１位（総合１位）

KV-Moto（電動自転車）
- ●Div-Nextクラス（学生のみ、車両重量15kg以上）
  高等学校部門１位（総合１位）

学科連携課題研究

３年次における課題研究の授業にて、昨年度より機械工学科・電気電子工学科・社会基盤工学科の３学科が連携をし「防災ベンチの製作」に取り組んでいます。今回の研究では、災害時に不足する電気を供給するため、太陽電池を装備し、発電機能を搭載した製品になります。これまで学んできた知識や技術を活かし、地域に貢献することをも目標に研究に取り組んでいます。

野球部

日頃より、野球部の活動に厚いご支援を頂き、誠にありがとうございます。毎年度グラウンドの整備費をご支援頂ているお陰で日々全力で練習に打ち込むことが出来ています。

2021年度・2022年度と連続して、夏季大会県ベスト16という結果を残すことが出来ました。さらに良い結果をご報告出来るよう、努力して参ります。

バドミントン部

日頃よりバドミントン部へのご支援頂きありがとうございます。バドミントン部は総勢62名の生徒が活動しています。毎年度、シャトルの購入費用をご支援していただいているお陰で団体、個人ともに県大会に出場することが出来ました。活動ができるのも、地域の方々やOB・OG、応援してくださる方々がいるからです。ありがとうございます。

女子バスケットボール部

いつもご支援頂き有り難うございます。女子バスケットボール部は7名で、県大会出場を目標に練習に励んでいます。南信高校総体では惜しくも負けてしまいましたが、南信高校新人大会では、ベスト８に入り、長野県高校新人大会に出場したいと頑張っています。

定時制「授業支援金」

【教育活動の紹介】

本校定時制では、義務教育段階において教室での学習機会を十分に得られず本校に入学する生徒が少なくないことから、重点目標に「基礎学力の定着」を掲げています。その取り組みの一つとして、学校設定科目「ベーシック講座」を木曜日と金曜日の特設時限２（16：00～16：45）に開講し、オンライン学習システム「すらら」を教材として導入しています。本年度は受講希望者12名が、各自のタブレット端末を持ち込み（BYOD【Bring Your Own Deviceの略】）、自分のペースで国語・数学・英語の学習を進めています。授業時には、２名の担当教諭が生徒の進捗状況を確認しながら声がけを行うなどして、生徒の学びを後押ししています。

剣道部

いつもご支援頂き有り難うございます。剣道部は男子６名・女子３名で、日々練習に励んでいます。南信高校総体では個人で北信越大会出場を決めました。南信高校新人大会では、団体戦で北信越大会に出場できるよう頑張っています。

コンピュータ制御部

コロナ禍がなかなか収束しない状況が続いていますが、テックレンジャーは地球平和のために地道に戦い続けています。今年は部員も増えて、迫力のあるショーになりました。

子供たちの笑顔が地球上で一番の力です。このパワーで悪を吹き飛ばしましょう！

バレーボール部

男子バレーボール部と女子バレーボール部です。

日頃より、支援をいただきありがとうございます。新たに購入していただいたボールを練習で使っています。

暑さとコロナ禍ですが、９月の選手権予選会、そして12月の新人戦に向けて、練習をしています。初心者、経験者ともに今日の自分を成長させられるように、日々を過ごしています。

電気部

電気部は、リモート開催となった全国産業教育フェアロボット競技大会に長野県代表として出場しました。マイコンカーラリーでは北信越地区大会で優勝して全国大会出場を決めたものの、全国大会は新型コロナの感染急拡大で開催中止となりました。

サッカー部

サッカー部は40人を超える大所帯であり、練習や試合において使用するサッカーボールは必需の消耗品です。検定ボールの単価もさることながら、昨今ではコロナ感染の影響で日本国内は品薄状態であり、今年度当初購入していただいたボールは貴重品でした。

物心両面でのご支援をいただき有難う御座いました。感謝の心を忘れないプレーを心掛けて活動しております。

全国大会参加者の激励会

本年度より、全国大会に出場する団体・個人に対し同窓会で激励会を開催し金一封を贈ることになりました。

第１回目を全国高等学校ワープロ競技大会に出場する商業科２年生池田汐里さん（飯田市毛賀出身）と全国高等学校総体自転車競技に出場する機械工学科２年生黒澤響冴君（喬木村出身）の２名に会長より激励の言葉と金一封を贈りました。

商業研究部ワープロ班

全国高等学校ワープロ競技大会に出場しました。私にとって初めての全国大会でした。

全国大会では、会場の大きさや選手たちの雰囲気に圧倒され緊張しましたが、同時にこの会場でできることに、ワクワクとした感情もありました。大会の結果は、思うように伸びず、もっと上を目指して頑張りたいという気持ちが残りました。ですが、多くの方に応援され、支えてくださりこの大会で競技できたことはとても幸せなことと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

全国の素晴らしい選手たちの競技を見て学んだことをこれからの練習に生かしまだまだ成長していきたいです。

インターハイ報告（自転車競技）

英語科　宮　下　俊　宏

８月４日から香川県高松市で開催されたインターハイに機械工学科２年黒澤響冴君が出場しました。種目はポイント競技。トラックを16㎞走り２㎞ごとに１位から４位までが得点を与えられその合計を競う種目です。今回は全国のレベルを肌で確認するために、１回でもポイントを取ることが目標です。気候条件が厳しい中、23名でスタート。好位置につけ１回目のポイントは４位、１ポイントを獲得。その後も積極的にレースに参加しますが一瞬の判断ミスで集団から遅れ途中棄権となってしまいました。予選突破はなりませんでしたが今後に向け貴重な体験ができました。現在は新人戦の全国大会出場に向け他の２名の仲間と練習に励んでいます。

学校だより

生徒会長十人目として

生徒会長　折竹　直輝

生徒会長になって半年以上が経ちましたが未だに発見や失敗の連続です。この日までにここまで進めようと計画を立てていてもコロナの影響で日程がずれてしまい、その都度臨機応変に対応してきました。また放送での連絡も多くなり、顔を見て話せないため全校の皆さんに理解してもらえたのか心配になることも多かったです。ですが、そこで失敗することで次は成功させるという強いバネになります。十年目の節目の年に代表の立場を任せられ様々な経験をさせていただき、私にとってかけがえのない時間になっています。

文化祭

文化祭実行委員長　串原　乙羽

文化祭まで時間がないと焦り、がむしゃらに準備をしていました。前日には桜姫祭のポスターを張り、当日に校舎中を走り回ったり、感染症対策の出来ていないクラス展がないか確認して回りました。いざ文化祭が始まってみると、臨機応変に動かなければならず、全校に放送をかけたりしました。その中でも全校の皆が楽しんでいる姿が見られ、とても安心しました。全てがスムーズに進んだ訳では無いですが文化祭が無事終われ、楽しんでもらうことができ、よかったです。

部活動　2022年度 1学期戦績

運動部

●水泳部　**北信越大会出場**

長野県高等学校総合体育大会　男子　総合2位
男子　リレーフリー4×100m
男子　リレーフリー4×200m
男子個人　自由形400m
男子個人　自由形1500m
男子個人　背泳ぎ100m
男子個人　背泳ぎ200m
男子個人　バタフライ100m
男子個人　バタフライ200m
男子個人　個人メドレー200m
男子個人　個人メドレー400m

●自転車　**全国大会出場**　長野県高等学校総合体育大会

文化部

●原動機部　N1チャレンジスズカ　**全国大会出場**

KV-1クラス（車体重量制限なし）　高等学校部門　第1位
KV-2クラス（車体重量35kg以上）　高等学校部門　第1位
クラスⅡ　高等学校部門　高等学校部門　第1位

●土木技術部

ものづくりコンテスト測量部門　**北信越大会出場**

●商業研究部

長野県高等学校商業総合競技大会
長野県高等学校ワープロ競技大会　**北信越大会・全国大会出場**

支部だより

座光寺支部

支部統合なる!!

支部長　岡嶌　正伸

長年の懸案であった支部統合が実現しました。

7月17日午後6時より座光寺公民館視聴覚室に於いて、本会より須山会長、澤柳副会長をお迎えし会員11名の参加のもとに支部統合設立総会が開かれました。

設立総会では、最初に会則を定め次の事項を決めて行きました。役員選出、事業計画、収支予算を決めてまいりました。

懇親会は、コロナ感染の急拡大により中止し、母校の隆昌を願って散会しました。

役員は、左記のとおりです。

支部長　岡嶌　正伸
副支部長　雄長　仁司
幹事長　石井はなこ
会　計　宮崎　享大

建設進むリニアの天竜川橋梁（左岸から座光寺方面を望む）

中川支部

新型コロナ禍での総会開催と支部会報の発行

事務局　宮﨑　朋実

令和3年11月20日、会員19人の参加により支部総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中ではありますが、役員改選を伴う総会であることから、十分な感染対策を施した上での開催としました。残念ながら懇親会は行いませんでしたが、新型コロナの早期終息を願い、再び交流が行われることを参加者一同願いました。

支部では会員への情報提供のため、毎年総会終了後に支部会報を発行しています。総会で承認された内容はもちろん、生徒が部活でがんばっている姿や、支部開催のイベント、会員の趣味の紹介など、母校や同窓会に心を寄せて頂く記事を中心に発行しています。年ごとに10ページから15ページほどの冊子となりますが、支部発足以来9号を発行し、現在は10号記念特集号の取材や原稿依頼を行っています。会員の皆さんに同窓会を身近に感じて頂けるよう、今後も工夫した紙面づくりを行いたいと編集委員一同考えています。

新型コロナの影響拡大により、何よりも母校の学生生活が制限されている事が心配されます。学生たちが充実した高校生活を過ごせるよう、支部としても心を寄せていきたいと考えています。

竜丘支部

正副支部長・事務長会開催

副支部長　松下　優

令和3年、年末の押し迫る12月18日(土)、午後6時より、ドライブイン開善路に於て、「定期総会の開催について、議題、旧飯田工業高校との統合について」、検討を行いました。又、午後6時30分より、本会から澤柳副会長、井口副会長のご出席を戴き、旧飯田工業との統合問題の、今現在の状況並びに今後の統合へ向けての課題及び見通しについて、大変有意義な説明を受けました。

私共役員をはじめ、支部会員も一日でも早く統合出来る様願い、既に「竜丘支部会則」の原案を作成しつつ準備段階に入っています。

本年度もコロナウイルス感染拡大防止の観点から支部定期総会は中止と致しましたが、新型コロナの早い終息を願っています。

追記：皆様の御尽力により、令和四年九月十八日に、統合する事が出来ました。有難う御座居ました。

喬木支部

私の趣味「シロギス釣り」

支部長　宮下　一彦

私がこの釣りに興味を持ったのは北鳴会（お囃子の保存会）の旅行で新潟の鵜の浜海岸へのシロギス釣り旅行に参加させてもらった事が始まりでした。

初めてのキス釣りに戸惑っていると会員が色々と教えてくれ第一投を振り出しました。初めての事でうまく飛びませんでしたが岸から四、五十メートルの所へ着水しゅっくりと巻き上げてくるとピンピンという当りが伝わってきます。今までの釣りとは違ったシャープな当たりです。このあたりに感動しキス釣りにはまったという所です。

今では鵜の濱以外に敦賀、直江津、太平洋等様々な所へ出かけて行って投げ釣りを行っていますがどのような所にシロギスが集まるか、どうしたらより遠くへ仕掛けを飛ばすことができるか、入門書等を買い込んで迷いながらやっています。現場へ着く度に期待を胸に投げ込んでいます。

折角の獲物をカラスに横取りされたことやトンビに握り飯を取られた事もありましたが、釣果はさておき大海原に向かって投げ込む爽快感を求めこれからもやっていきたいと思います。

伊賀良支部

新卒者の入会促進 役員の若返りを進めていきたい

支部長　久保田　宜男

コロナ禍３年目を迎え総会をどう実施するか理事会で再三協議した結果、昨年とは少し変え、理事会承認済「総会資料」を事前に幹事各位に配布し意見聴取した上で総会に臨みました。定期総会は６月18日、本会より須山会長のご臨席を頂き、役員、理事11名出席し木下工務所２階会議室に於いて行いました。

須山会長より同窓会支援での、生徒皆さんの活躍状況や、各支部の近況、来年10月７日予定されている「統合創立10周年記念事業」の説明を受けました。総会では事業報告、決算報告、４年度の事業計画（案）、収支予算（案）、役員一部変更等無事承認されました。コロナ終息が見通せない状況ですが、新卒者の入会促進や役員の補充若返りを進め、懇親会を含む各会合が気兼ね無くできる事を望む昨今です。

高森支部

総会議事を役員会で行なう

副支部長　田切　勉

高森支部の「令和４年度定期総会」の議事を、コロナ感染防止の為昨年同様に役員会で行ないました。６月28日に「きいち」にて、役員15名出席のもと、上沼昇支部長の挨拶、前年度事業報告、会計報告、新年度事業計画、予算案及び役員一部改選を提案し承認されました。維持会費の集金を苦労している中で、支部別入金状況表で、たまたま初のトップでしたのでその報告。会議後の懇親会では、上沼昇支部長が母校野球部の後援会長をしているので、野球部の甲子園出場の期待、バッティングマシーンの寄付もいいね。又役員の中にラグビー部ＯＢも居て花園出場期待と、皆で盛り上がりました。

橋北支部

総会前にマレットゴルフ大会を開催

支部長　櫻井　宗明

７月23日㈯　第９回支部総会を開催。総会前にマレット大会開催が恒例ですが、コロナ禍につき、２年間休止でした。今年は会員の要望もあり、総会当日、13時から松尾マレットゴルフ場にて開催した。熱の入ったプレーにて、大いに親睦を深められた。その後、橋北公民館へ移動して、16時から総会を行った。本会より須山会長の御臨席を頂き、役員・理事・会員12名

の出席。報告事項、提案事項が滞り無く審議され、「統合創立10周年事業計画」について、須山会長から詳細な御説明を頂き、母校の隆昌の一節ともなる記念事業の認識を深めることが出来ました。終了後、懇親会の予定でしたが、コロナ警戒レベルアップによる市政の御意向で、館内の飲食禁止となり、折詰と缶ビールのお持ち帰りとなり、大変残念でした。

飯島支部
来賓を迎えての総会
支部長　大嶋文雄

令和4年度支部総会を7月24日開催しました。須山会長、元校長上原顧問、松崎駒ヶ根支部長、中村中川副支部長参席の中で、会長より統合10周年の記念事業内容の説明で、在校生の研究、実践発表の場を設けるとの事、生徒たちにとっても大変よい経験になる事と思います。我々在学中には上伊那通学区でのコンパ等を行い、先輩・後輩交えて親睦を深めました。総会では、駒ヶ根・中川両支部よりも来席していただき懐かしい思いで話しに花を咲かせました。上伊那の同窓生も減少ぎみとなっていますが、飯田OIDE長姫高校にてすばらしい生徒が巣立っている事を宣伝しつつ母校の発展をと会長の願いもありました。

下條支部
長野県砂防ボランティア協会で活動
会計　柳瀬勝弘

私は同窓会下條支部で会計をさせていただいております柳瀬勝弘（土木27期）と申します。支部行事等を報告するのが本来ではございますが、私が取り組んでいるボランティア活動の一端を紹介させていただきます。

私が活動している「長野県砂防ボランティア協会」は「土砂災害に対していかに被害を最小限にできるか」を目的に平常時は土砂災害に対する警戒避難の啓発活動や危険箇所パトロールなどを、災害時は土砂災害対策施設（砂防えん堤など）施設点検支援などの活動をしています。近年の降雨は「ゲリラ豪雨化」が進み、いつ・どこで・短時間に大雨が降るかわかりません。「対岸の火事」ではなく「私ごと」と捉えていただくよう啓発活動を行っています。

そんな折、令和4年6月4日には大下条小学校で児童の皆さんとその父兄の皆様に対する「防災学習会」に参加させていただき、私から父兄の皆様に土砂災害対策に関するお話をさせていただきました。（以下がその際の状況写真）

このような啓発活動を地道に進めていくことが、大切だと肝に銘じ活動を続けてまいりたいと考えています。

松川支部

統合10周年事業に向けて

会計　西村省吾

松川支部の「令和４年度定期総会」は、昨年同様役員のみの出席で６月17日に開催され、各議案が承認されました。コロナ禍で思うように事業が実施できないなか、限られた参加者であっても総会で同窓会活動を再確認し、同窓会の意義を共有することの必要性を感じました。

今年もご臨席いただいた須山会長からの祝辞で、野球部・ラグビー部の活躍や、技術系・文化系それぞれのコンテストや大会で優秀な成績を収めていることをお聞きし、その思いをより強くしました。

余談ですが、私も野球の長野県大会の母校の初戦（野沢南にコールド勝ち）を観戦しました。試合内容もさる事ながら、持ち時間の限られた試合前練習の相手チームを圧倒するような見事さに、チーム力の高さを確信しました。

学生の皆さんの益々のご活躍と、「統合10周年」を記念する各事業が盛大に行なわれますことを心よりお祈り申し上げます。

下久堅支部

定期総会開催

支部長　平沢豊秋

令和４年度定期総会を７月16日「ふれあい交流館」で開催しました。開会に先立ち、支部統合にたいへんな熱意と責任感を注がれ初代支部長を務められて、昨年ご逝去された平沢英彦氏等物故会員に黙祷を捧げました。

新型コロナウイルスの影響により、令和２・３年度は本会から来賓はありませんでしたが、今年度は開催時期を少し早め、第７波拡大寸前で須山会長にご臨席をいただきました。

会長は、統合創立10年を迎えようとしている県下初の総合技術高校で学んでいる生徒の様子を熱く話され、特に、若者の生活スタイルに合わせた柔軟な学びに対応する単位制の導入がされたことにも触れられ、いろいろな面で頑張っている生徒への援助を推し進めて行かなくてはならないことが理解できました。また、会員同志の親睦の輪を拡げる活動を行うことも確認できました。

龍江支部

野球人生58年

支部長　塩沢敏彦

野球が盛んな龍江地区で、今でもＯＢ野球で活躍している田中峻之君（商Ｓ48卒）67歳を紹介します。

母校が全国選抜大会で優勝した昭和29年に生まれ小学校３年で野球を始めた。高校生になり母校の野球部に入った。持ち前の身体能力とセンスでピッチャーで４番（二刀流）を打ち甲子園を目指した。夢は叶えられなかったが、社会人となり地区のチームで野球を続けた。今は龍江ＯＢ野球クラブの主力として活躍しているが、特に印象に残っているのは６年前の県60歳野球の決勝戦、９点差をつけられ敗色濃厚の最終回、彼のホームラン等で１点差まで追いつき再度廻ってきた打席で逆転のヒットを打ち優勝した。

こんな感動を胸に体力が続く限り野球を楽しんでいきたいとのことです。

鼎支部

花火打上げ実現へ

支部長　池田　健一

先日、本校同窓会定期総会が行なわれました。その中で、「飯田OIDE長姫高等学校統合創立10周年」と銘うった記念事業が、計画実行する事が決定しました。来年10月7日に記念式典、祝賀会が行なわれます。それに併せて、本校が所在する鼎地区の同窓会支部として、独自のお祝いが出来ないかと、役員何人かに提案してみました。皆賛成してくれたなかで、こんな案が出されました。学校のすぐ近くに矢高神社があり、毎年秋祭りに花火を打上げます。この祭に10周年記念祝奉納とした花火を打ったらどうかと言う提案です。今後この案について、役員会もしくは総会等で検討し、実現出来るように計画して行きたいと思っています。

豊丘支部

支部統合7年目を迎えて

副支部長　壬生　慶治

豊丘支部では、例年7月に支部の定期総会を行ってきました。今年度も7月17日に総会を行う予定でしたが、コロナの第7波の為、急遽中止となり、コロナ禍で令和2年度から3年連続の中止となってしまいました。平成28年に支部統合が成り、順調に同窓会活動がスタートした中、3年間の空白は大変残念です。

統合後、支部の体制を整備する上で、一番大変なのが同窓会費の集金です。各区に総括責任者を置き、自治会は両校出身の担当責任者を決め集金する体制としました。また支部の地区別の名簿が重要で、事務局の努力により700余名の名簿を整備することが出来ました。会員の皆さんに母校の応援のためにと、お願いして歩く訳ですが快く頂ける方、中には理解いただけない方がおります。多くの方にご協力をいただけるよう努力をしております。当支部の集金状況もこのところ横這いの状況で今後の課題となっております。

行事が出来ない中ですが、支部理事の皆さんは、長姫、工業出身を特別に意識することなく、協力し合って活動しています。来年は、会員の皆さんが集って総会が開催出来、懇親会で楽しく親睦を深めることが出来ることを願っています。

泰阜支部

令和3年度の総会を開催

支部長　林　節生

コロナ禍で延ばしておりました令和3年度の総会を清水勇副会長のご臨席を頂き、ようやく11月14日に開催することが出来ました。会員18名の出席でしたが、盛会裡に開催することができました。初めに清水副会長より同窓会の10周年の事業を検討している状況等の報告がされました。議事では令和2年度の事業及び決算報告。また、令和3年度の事業計画・予算案を提案し、承認されました。特に、事業報告の中では会費徴収の取り組みにおいては、役員の皆さんのご尽力により、94%の徴収実績を上げることができました。支部長より感謝の報告がありました。また、本村の在校生の活躍の報告として、野球部の松下秀君はエースとして令和2年秋の北信越大会において諏訪清陵高校を11奪三振1安打に完封し、学校統合8年目で初の県大会出場に貢献、夏の甲子園を目指しては腰を痛めて残念ながら3回戦で敗退となりましたが頑張ってくれました。また、弓道部では宮下悦輝くんが各種大会で活躍し、国体の少年の部の選手に選抜され期待されました。しかし国体は中止となり残念でした。最後に、会報の配布をしながら会費の徴収と会員相互の交流を広めるべく事業展開を図ることを確認し、総会をまとめることができました。総会後の懇親会は、大いに盛り上がり、2時間余に亘って楽しい時を過ごすことができました。

ゴルフ会会長
竹内昇五

コロナ禍も3年目となり終息しませんが、ゴルフコンペの開催を検討し昨年同様に、飯伊地区の同窓生を限定として開催することとし開会式・懇親会は取りやめ競技方法もハーフのみで決定し開催いたしました。

第17回秋季コンペは、令和3年11月4日に飯田C・Cで開催81名の参加、優勝はグランドシニアの部麦島征さん、一般の部は中塚功二さんが連覇しました。

第18回春季コンペは、令和4年6月1日に高森C・Cで開催、飯伊地区同窓生限定の参加とし86名が参加、グランドシニアは黒澤誠さんが優勝、一般の部は鹿野明彦さんが優勝しました。会を重ねる毎に参加人数も増加してきました。同窓生同志の絆の強さを感じます。親睦を深めるため皆様のご参加をお願い致します。

第17回秋季ゴルフコンペ結果

《グランドシニアの部》

順位	参加者氏名	NET
優勝	麦島　征	33.6
準優勝	壬生　善夫	34.6
3位	熊谷　芳章	34.8
4位	藤本　義隆	34.8
5位	宮澤　民人	35.2
6位	五十川　勝	35.4
7位	関島　盛皓	35.4
8位	中垣　啓成	35.6
9位	小川　光春	35.6
10位	塩沢　敏彦	35.8

《一般の部》

順位	参加者氏名	NET
優勝	中塚　功二	34.2
準優勝	清水　伸彦	34.6
3位	木下　健一	35.0
4位	熊谷　良一	35.2
5位	杉山　勉	35.4
6位	林　治巳	35.4
7位	田中　峻之	35.4
8位	長谷川　豊美	35.6
9位	村澤　和子	36.2
10位	牛山　博司	36.8

第18回春季ゴルフコンペ結果

《グランドシニアの部》

順位	参加者氏名	NET
優勝	黒澤　誠	35.6
準優勝	能登　仁	35.8
3位	村井　一喜	36.0
4位	松井　芳之	36.2
5位	仲田　重治	36.2
6位	佐藤　英男	37.0
7位	松枝　清	37.0
8位	鈴木　徹	37.0
9位	何原　忠夫	37.4
10位	牧野　純	37.4

《一般の部》

順位	参加者氏名	NET
優勝	鹿角　明彦	35.4
準優勝	成澤　晃明	35.8
3位	田中　峻之	36.0
4位	清水　伸彦	36.2
5位	佐々木　和人	36.6
6位	市瀬　和彦	36.6
7位	木下　祐一	36.6
8位	新井　千道	36.6
9位	杉山　勉	37.0
10位	代田　康弘	37.6

マスターズ甲子園出場目指して

野球部OB会（マスターズ監督）
伊壷英俊

「マスターズ甲子園」とは・・・全国の高校野球OB・OGが性別、世代、キャリア等の壁を超え、出身校別にチームを結成し、聖地【甲子園球場】を目指そうとするものです。今年は長野県選抜チーム（50選手で編成）で本大会に出場することが決まっており、本校OB会から尾曽陽太、熊谷蓮哉両氏が参加します。

マスターズ大会は硬式球を使用し、4回までを34歳以下、5回以降を35歳以上のチームで試合を行います。今年の県大会参加は43チーム（北信10、東信10、中信12、南信11）、本校野球部OB会は初出場でしたが、南信予選を勝ち上がり、県大会に出場しました。この大会に参加することでOB会員が年代を超えてひとつのチームとなり、上下のつながりができてOB会が盛り上がり、それが母校野球部の強化にも繋がればと思います。そして、将来母校野球部、OB会チームとも甲子園の土を踏めることを願っています。

女性部会

部長　塩　澤　りゑ子

女性部　部長の塩澤です。皆さま、女性部が何をしているかご存知ですか？

『総会の受付』。そうなんです。総会、新年会などの受付も、私たち女性部の仕事です。しかし！それだけではないのです!!年２回の食事会の開催や同窓会会員である在校生とのお茶会なども行ってきました。食事会では50名ほどの会員に参加して頂き、久しぶりの会話を楽しんだりゲームをしたり大変盛り上がりました。コロナ禍の現在では、〝みんなで集まって〟というのが難しく、食事会などは開催できていません。しかし、今だからこそ出来ることもあると思います。〝こんなことなら出来るのでは?!〟や〝これなら参加したい!!〟といった素敵なアイデアを教えてください。具体的でなくても、まとまっていなくても大歓迎です。もちろん、男性からのアイデアも大募集中です。皆さまで考えた、『楽しいこと』してみませんか?!

統合創立10周年記念事業令和５年度に実施

２０１３年４月飯田長姫高校と飯田工業高校が統合し「長野県飯田OIDE長姫皇后学校」が開校しました。そして２０２３年に学校創立10周年及び両校同窓会統合10周年を迎えます。

そこで学校と同窓会が更なる発展することを願い統合創立10周年記念事業を実施することが４年度定期総会において決定されました。詳細については、実行委員会を立ち上げ計画していきます。

記念式典
○日　時　令和５年10月７日㈯　午後１時30分
○場　所　飯田OIDE長姫高校大体育館
○アトラクション　母校生徒による実践発表

祝賀会
○日　時　令和５年10月７日㈯　式典終了後
○場　所　シルクプラザ

魔の咆哮、チョモランマ北壁
厳冬期最高到達点記録

電機科13回(昭和44年)卒　大　蔵　喜　福

39年前の12月、私はチベットから厳冬のチョモランマ北壁にへばり付いていた。'83～84厳冬期世界最高峰エベレスト＝チョモランマ南北両面から同時登頂を目指した登山隊の北壁隊（今井通子隊長）の登攀リーダーだった。取り付きから頂上までの高度差２６００ｍの氷壁が衝立のように立ちはだかり、90日近く粘ったが、体力の限界！吹き荒れる烈風に行く手を阻まれ意欲が削げ撤退した。黒い鋼鉄のような氷はクランポンの前爪を曲げ、アイスハンマーを振る腕が棒のようになった。

南側ネパールの南東稜隊（高橋和之隊長）は、秋に隣峰ローツェを総勢９名で登頂、高所順応成った隊員とルート熟知を武器に、その後体力回復を図ると短期速攻で12月16日、山田昇等３名とシェルパがエベレストの冬期第三登を記録する。気象も担当していた私は、13日北壁を下ってBCに入り、当時最新鋭の高感度短波受信機とナグラファクス（磁気ペン式）でインドのニューデリー、そしてウズベキスタンのタシケントより高層天気図（３００Ｈpa）を受信し、予報支援に回った。そして16日の弱風をエベレスト隊に伝えた。

チベットの北壁側は、登頂翌日の17日夜から吹き始めた風はいつ止むとも知れなかった。悪天続きの中26日５５５０ｍのBCを42ｍ／秒の突風が襲う。食堂テント、機材テントが吹き飛ばされ、同日第１キャンプも倒壊した。穏やかな日は大晦日のみ、翌元旦から上部に向かったが再び２日から天候が崩れ、地を這う烈風は第１キャンプからの８００ｍに及ぶ垂直の氷壁に刻まれたステップを跡形も無く削り、落氷、落石は雪崩のように襲ってきた。

いなしと思えた。気になったのは、ポストモンスーン前の大雪によるラッセルと、北壁上部から多発する雪崩だった。だが10月末には北壁基部６１５０ｍに第１キャンプ、１週間後には６９００ｍに第２キャンプ、２週間後には７４５０ｍに第３キャンプと予定より早くルートが延びる。前回から継続する隊員たちは雪辱に燃えていた。

６日第２キャンプに向かったわれわれのパーティがキャンプ手前で強風に追い返された翌７日、撤退を決めた。このとき最高到達地点８１００ｍ。再挑戦は、資金の手当てのあてもなく、一年の猶予を置いて、85～86年にと、北壁隊はベースキャンプ撤退時に決めた。

二度目の挑戦は、８０００ｍを超えた、83～84の経験と知識が非常に役立ち、好天のチャンスさえつかめば、成功間違

しかし、そう簡単にいくわけもなく第４キャンプへのルート工作にはてこずる。強風と寒気の中、時には身体ごと飛ばされ、屈強のシェルパ達も逃げ帰ることが続出。それでも、４週間後の11月18日には８０００ｍの第４キャンプにアタック用の物資１５０kgの荷上げが成った。

だが、好事魔多し、それから６日間というもの烈風が荒れ狂う。24日に第４キャンプに到達した隊員から、悲痛な叫びが！テント、ロープ、食料、その上酸素ボンベなど、ほとんどが雪崩で消え去った。こんなことは初めてで、調達にラサまで出向く羽目になった。惨めにも装備の一部は２０００ｍ落下した氷河上に散乱していた。

二日後、私が第４キャンプの再建に向かうが、「風強くテント張れず…マイナス45℃…」と一言ＢＣに連絡し、テントを覆うだけのビバークを余儀なくされた。第４キャンプの再建が成るには、その後１週間が必要だった。12月４日、ホーンバイン・クーロワール（細い溝状の岩場）８２００ｍに達し、中間のデポキャンプを設けて、８３００ｍのアタック用第５キャンプまであと一歩に迫った。クーロワールは、予想以上にはがれ落ちる氷塊と落石の通路となって危険な状態。翌日から１週間、レンズ雲に覆われた上部からは、ジェットストリームの不気味なうなりが続いた。12日再度デポキャンプに到達してみると、テントが大きく裂けていた。引き返すことになり、落胆は広がった。原因は落石で「中に居なくてよかった」が正直な思いであった。

私と相棒のＫ隊員で16日、上部逆層の岩場に手こずるも、クーロワールの喉を通過、やっと頂上に続く西稜

に手が届きそうな８４５０ｍに達し、精魂尽き果ててデポキャンプに戻った。ほとんどぶら下がったようなテントでは、Ｋを横に寝かすと私は座った状態のまま股間に打ち込んだピッケルで身体を支えるのがやっと、ウトウトするだけの睡眠となった。最後の気力を振り絞り翌17日、午前３時にテントを出るが、台風並みの強風に戦意喪失。クーロワールの溝は細かい落石と氷粒が滝のように流れ、最後の通信に立つ。「もう先には進めません。迷惑をかける前に断念とします。」涙が頬を凍らせる。Ｋと到達した８４５０ｍが冬期北壁の最高到達地点記録となった。

あれから37年間、私の名誉ある記録に挑戦した者は誰もいない。

維持会費納入のお願い

同窓会費の納入につきましてご協力いただき感謝申し上げます。

維持会費につきましては、例年通り年間1,000円をお願いすることになっております。この会費は、母校の授業支援（2,000,000円）を主に（支援金費用の内訳7～10ページ参照）会員相互の親睦・支部育成・会報発行等に使用させていただいております。趣旨をご理解いただき会費の納入には是非ご協力いただきたいと思います。なお、OIDE長姫高校を卒業した第1期生の皆さんには卒業後8年分の会費を卒業時に納めていただいておりましたが、その期間が終了したため今年度より納めて頂くことになります。

個々に会報を送付している会員の皆様には、到着後早期にご送金をお願いいたします。

各支部におかれましては、会報を届けていただいて集金をお願いいたします。

飯田OIDE長姫高等学校同窓会ホームページ

http://iida-oide-osahime-reunion.com

TEL&FAX 0265－48－5422

2023年度 定期総会予告

●2023年6月6日(土)
午後2時より

●会場：シルクホテル

❖飯伊地区は地元新聞広告、全国へはホームページでもお知らせします。

❖多数の同窓生のご出席をお待ちしております。

会員訃報

ご冥福をお祈りします

旧長姫高校

旧22	佐々木 勤		
旧22	木下 登	R3	8・4
旧22	塩澤 煕	R1	9・3
旧22	小池 辰夫	R2	12・1
旧22	横山 竹男		
旧23	稲垣 実	R3	
旧23	遠山 袈夫	H31	1・22
旧25	大洞 忠雄	H29	1・17
旧25	長谷川修吾	H30	5・13
旧26	小林 敏浩		
旧26	清水 広司		
商1	林 省一	R2	1・15
商4	下田 昭治	R3	11・10
商4	宮内 稔	R3	5・7
商4	小池 章弘	R3	7・16
商4	新井 弘司	R2	10・11
商4	米山 喜平	R3	
商4	塩澤 学	R3	
商5	北原 優		
商5	馬場田仲夫	R1	11・8
商6	黒川 昭一		
商6	三尾 信仁	R3	8
商8	岩原 崇	R2	2・23
商8	板倉 千昭	R4	7・14
商8	高見(木下)計夫	R3	1・12
商9	湯澤 武	R3	
商9	熊谷 貞三	R3	11
商9	松村 訣	R2	9・26
商9	小林 覚美		
商10	小椋 正章	R2	1・10
商10	加藤 善弘	R2	10・25
商11	高橋 輝彦	R3	8・19
商12	宮澤年あき	R2	5・14
商13	原 利廣	R3	3・15
商13	竹内 正亘	R3	5・29
商14	熊谷 忠志	R2	
商14	下田 豊洋	R3	4・10
商15	鈴木(平林)善雄	R3	6・18
商15	宮坂(大洞)ふさ子	R4	3・4
商16	橋本 治芳	R3	7
商16	平澤 英彦	R3	9・22
商21	原田(亀尾)恵美子	R4	3・25
商21	大西 明	R1	5・1
商21	山口 文夫	R3	12・21
商21	片町 彰	R3	10・7
商23	平田 正志	R3	10・17
商25	原(吉澤)美代子		
商29	上沼志保子	R3	
商29	田中 恭平	R3	9・7
商33	牧内 忍	R3	6・28
商38	中島(榊山)佳代子	R3	
商45	坂井 陽二		
建3	荒井 俊介	R2	11・8
建4	杉浦 章広	R3	5
建9	高橋 進	R2	12・30
建12	松尾 昭一	H24	1・24
建12	松下 豊幸	R30	2
建12	宮澤 正之	H16	
建12	宮下 博次	H28	
建12	吉澤 章	H29	9
建12	村松 運男	R3	
建12	北澤 義隆	H2	7・1
建12	唐澤 中	H29	1・6
建15	今村 国男		
建22	中塚 宗夫		
建23	堀竹 博		
土1	牧島 喜利		
土2	松下 匡男	R3	
土3	田中 士郎	R1	11
土9	前澤 勝良		
土10	秋山(北原)勇治	R3	2・16
土10	村松金二郎	R2	12・10
土12	水上 雅裕		
土18	本島 道清	R4	4・21
定1	今村 満夫	R2	8・27
定3	紫芝 栄	H31	
定4	尾崎 猶吉	R3	2・26
定4	上田 茂治	R2	6・20
定7	平栗(代田)隆子	R3	1・5
定8	前島 近雄	R3	6・16
定9	松澤 貞夫	R3	7・26
定9	木下 和章	R3	11・10
定9	伊原 隆司	R4	3・22
定19	水野 義人		
定21	塚平 廣志	R3	7・23
定51	宮崎 伸司	R1	10・25

旧工業高校

農工1	吉川 富男		
農工1	鋤柄 成子	H21	11・30
農工2	山田 勲		
農工2	舘松 光男		
農工3	市岡 愛子	R3	6
農工4	下島 政治		
農工6	篠田 重実		
上郷1	松尾 幸雄		
上郷2	多田 いわ	R2	10
上郷3	小島 周一		
機1	篠田(宮島)宗男	R4	5・12
機1	森脇 利夫		
機3	黒河内正人		
機5	長谷川 脩		
機11	木下 正樹		
機13	今村 登		
機17	青木冨美男		
機29	今村 彰伸	R4	5・20
電48	笠原 陽輔	H30	12・29
定機11	森山 賢治	R2	10
定機14	岩崎 佳一	R2	8・25
定機14	矢崎 和俊	R4	5・5
定機14	細川 秀文		
定機21	佐々木敏文	R3	11・17
	（　）旧姓		

注）ご家族、支部の皆様からの報告により、お知らせしております。

令和３年度　卒業生進路状況

１．全般の進路状況

課程・学科 ＼ 進路		就職			進学				その他	計
		企業	公務員	自営	大学	短期大学	高専編入	専門学校等		
全日制	機械工学科	23	2	0	4	0	0	10	0	39
	電子機械工学科	13	1	0	12	1	0	10	0	37
	電気電子工学科	21	0	1	7	0	0	9	0	38
	社会基盤工学科	22	1	0	8	0	0	7	0	38
	建築学科	13	0	0	16	1	0	7	1	38
	商業科	29	1	0	12	14	0	23	1	80
定時制	普通科	7	0	0	1	0	0	2	9	19
	基礎工学科	3	0	0	0	0	0	2	0	5
計		131	5	1	60	16	0	70	11	294

２．業種別就職者数

課程・学科 ＼ 業種		農業林業	建設	製造	電気ガス	情報通信	運輸郵便	卸売り小売り	金融	物品賃貸	専門技術サービス	宿泊飲食	生活関連サービス	医療福祉	複合サービス	他のサービス	公務員	計
全日制	機械工学科	0	2	17	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	25
	電子機械工学科	0	1	11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14
	電気電子工学科	0	6	6	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	22
	社会基盤工学科	0	11	1	3	0	1	1	0	0	4	0	0	0	0	1	1	23
	建築学科	0	5	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13
	商業科	0	0	8	0	1	1	2	0	0	3	1	1	7	4	1	1	30
定時制	普通科	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	7
	基礎工学科	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計		0	28	53	8	3	3	7	0	0	8	1	3	8	4	6	5	137

３．地域別就職者数

課程・学科 ＼ 地域		管内	県内	中京・東海	関東	関西	その他	計
全日制	機械工学科	12	5	7	1	0	0	25
	電子機械工学科	7	1	5	1	0	0	14
	電気電子工学科	10	3	8	1	0	0	22
	社会基盤工学科	15	0	6	2	0	0	23
	建築学科	12	0	1	0	0	0	13
	商業科	27	2	0	1	0	0	30
定時制	普通科	7	0	0	0	0	0	7
	基礎工学科	3	0	0	0	0	0	3
計		93	11	27	6	0	0	137

編集後記

会報発行も10号を数えることになり、月日の立つ早さを感じていますが、会員の皆様如何お過ごしでしょうか？

未だに続くコロナ感染症は収束の兆しも見えず、ロシアのウクライナへの侵攻も、まかり間違えれば第３次世界大戦に発展しかねません。経済界を見れば京セラ・第二電電の創業者であり日航の経営再建をされた稲盛和夫氏死去、七月参議院選挙の最中、安倍晋三元首相が凶弾に倒れ死去、８月末東西冷戦に終止符を打ったゴルバチョフ元ソ連大統領の死去、９月８日エリザベス女王死去と分野に違いがありますが、世界に影響を与えたリーダーの訃報が届きました。

在校生の活躍も度々マスコミに取り上げられ、地域人教育を始め、電動機部の全国大会10連覇、野球部の夏県予選ベスト16、テックレンジャーの活躍等地域で輝いています。

地域の将来を背負って立つ在校生にエールを。

（中島　記）